

## クレジットカードとは違う？

# BNPL（後払い決済サービス）



近年、キャッシュレス化の進展にともない、さまざまな決済方法が普及していますが、国内外で新たに“BNPL”という後払い式の決済手段が特に若い世代で人気となっています。従来からあるクレジットカード払いも同じように後払い決済と言えますが、BNPLとはどのような違いがあるのでしょうか。

## BNPLとは

BNPLとは、「Buy Now, Pay Later」の略で「今買って後で払う」という意味の通り、商品やサービスの提供を先に受けてから、後で代金を支払う、後払い決済サービスのことで、主に EC（電子商取引）の決済で利用されており、クレジットカードや銀行口座がなくてもネットショッピングができるため、若年層を中心に市場が広がりを見せています。

小売店側は、販売の機会損失を防ぎ、幅広い顧客を獲得しやすくなるメリットがある一方、未回収リスクが保証されているプランなどを選択すると BNPL 事業者へ支払う手数料が高くなる場合があります。

購入者側としては、クレジットカードと比べて信用調査が厳しくないことや、クレジットカード情報を入力する必要がないため簡便ですが、支払能力以上に利用してしまい、延滞損害金の発生などが問題視されています。

### <BNPL とクレジットカードの主な違い>

	BNPL	クレジットカード
ユーザーの手数料	原則不要	年会費等の負担が必要な場合あり
小売店側の手数料	BNPL > クレジットカード	
信用調査	不要 or 簡便 (AI も利用)	クレジットスコア等で審査
利用枠 (利用限度額)	当初は小枠 利用状況 (返済履歴) に基づき、利用枠を増枠	事前審査に基づき利用枠を設定 (BNPL 対比限度額は大きい)

## BNPL の流れ

- ①ユーザー（消費者）がオンラインなどで商品を購入する際に「BNPL」での支払いを選択し、商品を購入
- ②BNPL 事業者が支払い方法（一括、分割や支払時期など）を提示し、ユーザーが決定
- ③BNPL 事業者が小売店（加盟店）に立替払いする（決済事業者が与信を行う）
- ④BNPL 事業者は商品価格から差し引く形で決済手数料を小売店から徴求
- ⑤決済確認後に小売店がユーザーに商品を発送
- ⑥定められた条件でユーザーが BNPL 事業者に代金を支払う

（日本総研『拡大する Buy Now, Pay Later (BNPL) 市場の動向と今後の展望』より引用）

国内の BNPL の市場規模は高い成長率を見せており、2019 年度で 6,870 億円、2024 年には 1 兆 8,000 億円に達すると予想されています（矢野経済研究所「EC 決済サービス市場に関する調査」より）。コロナ禍で EC サイトの利用が急増する中、日本でもさらなる広がりを見せそうです。

